



2023年7月3日  
聖心女子学院初等科  
校長 大山 江理子  
7月号

### 対話を生み出す 対話から生まれる

校長 Sr.大山 江理子

7月を迎え、4月からの学校生活も一区切りの時を迎えようとしています。夏休みが近づいています。

4月からの学校では、様々な活動を行うことができ、子どもたちの学びと共に、関わり作りの機会を増やすことができました。新しい体験もたくさんできたのではないのでしょうか。

人との関わりにおいて学ぶことはとても重要です。活動を共にすることを通して、思いや考えを知り合い、何かを一緒に達成し、お互いと世界に対する理解を深めます。途中の段階でのうまく行かない体験の意味深さは先月号でも考えたとおりで。夏休みには、学校の外で色々な方と出会い、体験する機会が増えるでしょう。ご家庭でもお子さんとの関わりの時間が長くなります。多様な関わりができると、豊かな生活となります。

関わりを支えるのは言葉です。どのような言葉のやりとりがよい関わりを生むでしょうか。お互いを受けとめ合う関わりになるために、今年度の学校目標にあげた「対話」が力を持ちます。対話とはどのようなものなのでしょうか。考えていたら、色々な方の言葉に出会いました。少しアレンジしながら、以下にご紹介します。



\*対話と会話は異なります。おしゃべりでもありません。\*対話では、相手の話を一方的に聞くのではなく、相手が考えたことがないことを一緒に考えたい。\*対話は聴き合う中で、言葉を生んでいく、何かを作りだしていく場です。すでにわかっていることを知らせたり、伝えたりするよりは、何か新しいことを共にみつける場です。\*対話は勝ち負けが目的でないコミュニケーションです。自分が正しい、相手が間違っているというものではありません。\*自分の考えを説明して、理由を伝え、わかってもらおう努力をします。そこでは、相手も私も○の関わりで、お互いに「あーそうなんだ」をくり返すなかで、共通の「これだ」に近づいて、ほっとします。\*対話と討論とは別物。討論は自分の考えを相手に納得させるのが目的ですが、対話では、それを通して気づきがあり、自分や相手が変わることが重要です。\*対話のときには、何もかも全部を語らなくてもよいし、すぐわからないこと、知らないことがあってもよいのでは。お互いの途中を大切に、一緒に探す、生み出す作業をします。



これらに共通しているのは、「共に生み出す」感覚です。その場限りでなく、何かが残るもの。この夏の一つでも対話を経験できればうれしいことです。子どもたちには、まず夏休みまでの7月の学校生活で、心に残る対話の機会があることを願っています。

#### ★大澤カバンよりお知らせです。

本革製のランドセルは、雨に当たると縫い目から水がしみこむことがあります。

特にカバーが付いたままですと乾ききらず、革の表面にしわが寄ってしまう原因になります。

ランドセルが濡れた場合は、乾いた布で拭き、カバーをはずして乾かすようにしてください。

★夏休みに転居をお考えの方で、既に住所・電話番号等がお決まりの方は、夏休み前に変更届をご提出ください。未定の部分がある方は、9月以降で結構です。

### 広がる学びの時間 —教室から飛び出して— 副校長 中塩 百合



6月には、保護者の皆様に参加していただく行事が幾つかありました。参観日には、日々の学習の様子や友だちとの関わりをご覧いただき、ご家庭での家族の会話が増えたと子どもたちはとても喜んでいきます。皆様の励ましの言葉は、次の目標に向かう子どもたちへのエールとなったようです。ご参観ありがとうございました。

参観後いただいた感想には、学校生活を心から楽しんでいる様子が表情と共に伝わったと安堵の声が数多くありました。また学習に関しては、間違いを恐れず発言する児童が多いこと、各教員が授業でいかに子どもたちの学びを楽しく、分かりやすくするかを研究し、知識を得るだけでなく思考の過程を共有する活動を工夫していることに対する感想もたくさんいただきました。今後も、学習の質の高さを追究していくよう研究・研修に努めて参ります。



日々の学習の中で培う力と共に、教室を離れて活動する校外学習も子どもたちの学びを深めます。校外学習では、雄大な清里の自然に驚き、この自然を残すために人間は自然とどう共生していったら良いかを一人ひとりが考えました。また、寝食を共にした友だちへの新たな発見も多く、日常とは違う学びは子どもたちの心を成長させ、その後の学校生活、



家庭での行動にも良い影響をもたらしています。自分の力では生きられない小さな苗木を牛乳パックに入れて持ち帰り1年間育てる「a piece of forest」の活動では、命を預かるという責任を感じています。先輩たちの育てた木々を見ながら、自分もと世話をする子どもたちの姿があります。

5年生は「アーティゾン美術館」、6年生は「森美術館」を見学し、本物に触れる体験もしています。ひとつひとつの作品を鑑賞しながら、その作品が持つ美しさ、迫力、表現の多様性に感嘆し、また作品に込められた作者の思いを知り、写真では伝わらない本物の持つ魅力に圧倒される時間を過ごしました。夏休みには、是非美術館や博物館にもご家族で足を運んで、本物に触れる体験をしてください。子どもたちの柔らかい心は、様々な出会いで大きく変化することでしょう。ご一緒に味わってください。



【アーティゾン美術館】 【森美術館 プログラム風景】

#### 7月の予定

- 3日(月) ハイチデー  
1年・転入編入保護者会  
3・4年ファミリールール講座(4限)
- 4日(火) 私学半日研修  
(3限まで授業 午後家庭学習)
- 10日(月) 1年防犯教室(3限)  
5・6年ファミリールール講座(5限)
- 12日(水) モアレ検査(5,6年)
- 13日(木) 面談日①(午前授業)
- 14日(金) 面談日②(午前授業)
- 17日(月) 海の日
- 18日(火) 午前授業  
6年Tokyo Global Gateway 訪問(午後)
- 19日(水) 7月の会 大掃除(午前授業)
- 25日(火) ~26日(水)  
4ゆり・きく校外学習(不二・御殿場)

- 26日(水) ~27日(木)  
4ばら校外学習(不二・御殿場)

#### 9月の予定 (前半)

- 1日(金) 9月の会  
(午前授業・3,4限平常授業)
- 4日(月) 1年・転入編入保護者会
- 5日(火) ~6日(水)  
6ゆり校外学習(清里)
- 6日(水) ~7日(木)  
6きく校外学習(清里)
- 7日(木) ~8日(金)  
6ばら校外学習(清里)
- 8日(金) 5年まどめのテスト①
- 11日(月) ~15日(金)  
水泳期間(1年)
- 13日(水) 泉の会代表幹事会